

災害時における初動対応および 学生避難誘導について(お願い)



■授業中に大きな地震が発生した場合

●地震発生時の対応

落ち着いて行動し、現場の安全と、何よりも（学生・教員ご本人）身の安全を確保してください。揺れが収まるまで以下の点に注意するよう、学生に指示してください。

- ① ドアを開け、出口を確保する
- ② 衣類やカバンなどで頭を覆い、落下物（蛍光灯）から身を守る
- ③ 天井に設置しているテレビモニター、扇風機や、窓際（ガラス窓）から離れ、机の下などにもぐる

揺れが収まった後、熱器具等の電源を切るなどして、二次災害を防いでください。



●地震鎮静後の対応

避難放送や総務課からの連絡などに従ってください。

大きな地震には余震発生の可能性が高いため、十分に注意し余震等に備え、窓（1階部）やドアを開けて避難ルートを確認してください。

1) 教室から避難する場合、以下の点に注意して、落ち着いて避難してください。

- ・ 出口に殺到しないで落ち着いて避難する
- ・ 身体に障害のある学生や負傷者の避難を補助する
- ・ 停電した場合、誘導灯を目印に避難する
- ・ 避難する際は、階段を使用する（エレベーターは使用しない）
- ・ 火災が発生した場合は、タオルやハンカチで口と鼻を覆い、低い姿勢で避難する



2) 屋外の避難場所に避難する時の注意

災害の規模と状況に応じて、指定の緊急避難場所（3号館前）へ誘導してください。

- ・ 衣類やカバンなどで頭を覆い、落下物から身を守る
- ・ 窓ガラス・外壁・看板等の落下物に注意する

■日頃の備え

●非常時に備え日頃から以下の点を確認してください。

- ・ 避難経路（非常階段）、避難先（3号館前）
- ・ 消火器、避難器具、AED（自動体外式除細動器）、内線電話など設置場所

●定期的に避難訓練を実施しております。授業・業務等で参加できない場合、訓練の状況を撮影しておりますので、訓練風景を確認することが可能です。

